

令和 4 年 3 月の市民の声（全 7 通のうち 4 通）

◇コロナ禍の中学生部活動について

【ご意見・ご提案など】

まん延防止措置が解除され県内の他の地域は、条件はあるものの部活動を再開している。それにも関わらず、大和中学校はなぜ、またもや 3 月 21 日まで部活動休止措置をとり、県内開催の大会出場を制限されなければならないのか。

そもそも部活動を休止していた期間が一番小中学校において感染が拡大していた。本当に部活動を休止する事が感染を抑制できると考えているのか。

同じような感染状況にも関わらず、片や部活を行い、片や休止する、これでは義務教育の観点から不平等ではないのか
部活を休止するではなく、もっと工夫して継続する考えはないのか、そもそも部活が感染を拡大させているのではなく、県外スキー客の影響が多分にあると思われるが、なぜそこは何もせず、地元の子供達が我慢を強いられなければならないのか。

（令和 4 年 3 月 8 日）

【お返事】

令和 4 年 1 月頃より、南魚沼市内での新型コロナウイルス感染症が拡大し、多くの学校でも児童生徒や教職員に感染者が発生しています。基本的な感染予防対策を徹底するとともに、感染者が発生した場合は臨時休業を行うなど、児童生徒の命と安全を最優先に必要な対応を行ってまいりました。保護者の皆さまからも日々の検温や健康管理にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

学校ではこのような状況において、児童生徒が学ぶ機会や様々な活動を行う機会が確保できるよう、検討と対策を重ねています。特に中学校 3 年生においては高校受験が迫っていたため、学校での感染リスクを下げる措置として、教育委員会の指

示により休日の部活動を休止としました。しかし、その後も感染拡大が続いたことから、平日の部活動も休止とする対応を取っています。

現在は、新潟県内に適用されていた「まん延防止等重点措置」が3月6日で解除されたこと、感染状況が徐々に落ち着いてきていること、卒業式と高校受験が終了したことなどにより、平日の部活動は3月7日以降実施できることとしています。ただし、部活動を再開した中学校においても、運動部を2グループに分けて隔日の活動とし体育館内の人数を減らすなど、それぞれの学校の工夫により感染予防対策を強化して活動しています。

部活動休止を継続している大和中学校は、2年生の修学旅行を予定していると伺っています。他の中学校が修学旅行の中止、延期を決定する中、予定通り実施するという判断のもと、対策を講じていると考えています。どの活動を重視し、また制限を加えるのかは、教育委員会による統一的な指示によるもののほか、各学校の判断によるところもあります。コロナ禍の中、児童生徒の命と安全を守りつつ学習機会を確保するため、非常に難しい判断を伴う場合もあります。今後も様々な対応を行い、学校活動の充実に努めてまいります。

(担当：学校教育課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇ 図書館の開館時間について

【ご意見・ご提案など】

現状では、9時30分開館ですが、9時からの開館にできないものでしょうか。

因みに、十日町情報館は9時開館です。

無理な場合、返却ボックスを9時から利用できるようにして頂きたい。

(令和4年3月14日)

【お返事】

いつも図書館をご利用いただきありがとうございます。

図書館の開館時間は、現在、ショッピングセンターララの開館時間（医院の受付を除く）である9時30分に合わせて開館しています。

ご利用いただくすべての皆さまにとって、都合の良い時間ではないかもしれませんが、建物全体の管理運営のためであり、ご理解いただきますようお願いいたします。

また、ご指摘いただきました正面口の返却ポストにつきましては、図書館の開館時間と同じ、9時30分から利用可能となっていますので、閉館時は駅前口の返却ポストをご利用ください。

今後とも、図書館をご利用いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

(担当：図書センター)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇ 保育園の休園情報について

【ご意見・ご提案など】

市立保育園のみが配信されています。現在私立保育園で休園になっている保育園があります。その保育園は、土日受け入れ保育園ですし、私立の保育園に登園させている保護者も多く存在します。休園情報については市立・私立問わず配信を希望します。配信しない理由があれば教えてほしいです。

(令和4年3月14日)

【お返事】

市立保育園の園児・職員が新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合、市は市立保育園の管理者として、利用者に責任を持って情報を伝えるとともに、市民にも状況をお知らせする必要があると考えています。そのため、保護者の皆さまには、メールで状況をお知らせし、臨時休園をする場合には、市ウェブサイトで情報を公開しています。

一方、私立保育園・こども園の情報発信(公開)については、それぞれの園の管理者の考えに委ねており、市の意向で情報公開などの方針を決めることはできません。このことから、新型コロナウイルスの感染者が発生した際の情報を市ウェブサイトで公開することについて、各園の考えを伺ったところ、情報公開を希望する園と希望しない園がありました。

この結果を受け、市では希望する園についてのみ、市ウェブサイトで情報を公開することとしています。ご理解いただきますようお願いいたします。

(担当：子育て支援課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇市内美術館・記念館に年間パスポートを

【ご意見・ご提案など】

いつも安心安全な暮らしが出来ることには感謝申し上げます。

さて、市内の美術館や記念館に是非年間パスポートを設定していただきたく問い合わせを致しました。

ご存知の様に全国各地の施設で年間パスポートの設定があり、多くの効果を上げていると推察されます。私が思う年間パスポートの効果について3点挙げさせていただきます。

①外出するきっかけとなる、人が集まることで活気も増える他、施設の年間パスポートを持っている人へ話を聞くと、気軽にその施設へ行けるようになる、全ての作品を見ようと身構えなくて良いため外出予定に組み込みやすいとの意見がありました。

またそれにより人が沢山集まる事で施設自体も大人しい・寂しい印象ではなく、いつも賑わっていて人気のある、活気が溢れる施設のイメージへと変化するのではないのでしょうか。

②作品への理解が深まる

往々にして絵画や芸術作品は鑑賞する回数を重ねる事で理解が深まっていくと思います。年間パスポートを利用して金額を気にする事なく鑑賞できる事は、その時々々の鑑賞時の四季や気候の変化も相まり、より作品への理解度や鑑賞した満足度が高まるのではないのでしょうか。

③子どもへの波及

市内各施設は未就学児は無料であったり、料金も安く設定されていますがどうしてもアクセスが良くないため、家族で行く事が基本となると思われます。

子どもが芸術作品に興味を持つかわからないうちは施設へ行くのも時間とお金の無駄だと思ってしまう事もあるかもしれません。

年間パスポートで施設へ行くハードルが下がり気負わずに行ければ、芸術作品を通じた親子のふれあいも増えます。

小さな頃から地域の財産であるこうした芸術作品に触れる事は地域愛の涵養に繋がるのではないのでしょうか。

こうした芸術作品は、その場所へ行き直接見てみないと良さがわかりづらい事もあります。

毎月8のつく日は招待日などのサービスも行っていますが、市民でも一度も訪れた事の無い方はまだまだ大勢いるのではないのでしょうか。

この年間パスポートのようにまた違ったアプローチで宣伝すれば足を運ぶきっかけが増えると確信しております。

何卒ご検討頂ければ幸甚です。

(令和4年3月30日)

【お返事】

市立の美術館や記念館は、指定管理者によって運営されており、それぞれが、施設や収蔵品の特徴を生かした展示やイベントを行っています。

また、トミオカホワイト美術館では、子ども学芸員による作品解説をインターネット配信するなど、子どもたちの芸術への興味を高めるような取組も実施しています。年間パスポートは現在、池田記念美術館が導入しています。

今後、年間パスポートの導入、サービス向上等については、指定管理者とも協議しながら、文化による賑わいや多くの市民への芸術鑑賞のきっかけづくりになるような運営を心掛けてまいります。今後とも市の文化行政にご理解とご協力をよろしく宜しくお願いいたします。

このたびは、貴重なご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

(担当：社会教育課)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658